

みんなで取り組む節電アクション！

今夏に引き続き、今冬についても電力不足が心配されています。関西電力管内では、昨年比で10%の節電が呼びかけられています。



節電期間	時間帯	削減目標
3月23日(金)までの平日	午前9時～午後9時	10%

 節電項目	節電効果 (削減率)		チェック	
	エアコンを使用している家庭	エアコンを使用していない家庭		
エアコン	重ね着などをして、室温20℃を目安に設定※設定温度を2℃下げた場合	7%	—	<input type="checkbox"/>
	窓には厚手のカーテンをかける	1%	—	<input type="checkbox"/>
照明	不要な照明をできるだけ消す	4%	6%	<input type="checkbox"/>
テレビ	画面の輝度を下げ、必要な時以外は消す※標準→省エネモードに設定し、使用時間を3分の2に減らした場合	2%	3%	<input type="checkbox"/>
冷蔵庫	冷蔵庫の設定を「弱」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品をつめこまない	1%	2%	<input type="checkbox"/>
ジャー炊飯器	早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊いて、保温機能は使用せずに、よく冷ましてから、冷蔵庫に保存	1%	2%	<input type="checkbox"/>
温水洗浄便座(瞬間式)	便座保温・温水の設定温度を下げ、不使用時はふたを閉める	1%未満	1%	<input type="checkbox"/>
待機電力	リモコンではなく、本体の主電源を切り、使わない機器は、コンセントからプラグを抜く	1%	2%	<input type="checkbox"/>

※エアコンについては、暖房の控え過ぎによる体調不良などに注意して、無理のない範囲で節電にご協力ください。

※節電効果(削減率)の記載値は、夕方ピーク時の消費電力(「エアコンを使用している家庭」は約1,400W、「エアコンを使用していない家庭」は約1,000W)に対する削減率の目安です。



削減目標の達成には、皆さんのご家庭の協力が不可欠です。左記のチェックシートを利用し、節電効果(削減率)の合計が10%となるよう、ご家庭で実践してみてください。また、関西電力(株)ホームページ <http://www.kepco.co.jp/> では、夏の節電アクションと同じく、「でんき予報」による電力の状況や節電の方法などを掲載しています。



毎月第4土曜は 廃食用油回収の日

1月28日(土) 午前10時～正午

回収会場：市役所別館横電話ボックス付近

回収物：廃食用油、牛乳パック、アルミ缶

問環境課 ☎ 587-6003、エコロジーマーケットやすの会・増村 ☎ 586-1441

問い合わせ…環境課 ☎ 587-6003、FAX 587-3834

旧の指定ごみ袋 (平成22年9月30日以前に購入) の使用期限は3月末まで!

★旧の指定ごみ袋等は、4月1日以降、一切使用できません。

★使用期限までに旧の指定ごみ袋等が使い切れないと見込まれる場合は、新しい指定ごみ袋等と代金相当分の交換を行いますので、環境課で交換手続きをお願いします。なお、返金は一切行いませんので、ご注意ください。

【交換例】

- ◎旧指定燃えるごみ袋大 (35ℓ) 500円 (20枚入り)
- ↓新指定燃えるごみ袋大 (42ℓ) 500円 (10枚入り)
- ◎旧指定燃えないごみ袋 (30ℓ) 200円 (8枚入り)
- ↓新指定燃えないごみ袋 (30ℓ) 280円 (8枚入り)

※80円追加支払い要



歴史の小窓

—学芸員のメッセージ—

88

歴史民俗博物館

☎587-4410、Fax587-4413

【1月の休館日】月曜・火曜日、1月1日(祝)～4日(水) ※9日は祝日開館

◆テーマ展「くらしと民具」／1月29日(日)まで

◆写真展「平家物語と祇王伝説」／1月5日(木)～4月22日(日)

◆ドウタクくんと凧作り&凧あげ／1月15日(日)午前10時～午後2時(雨天の場合は21日(土)) 定員…小学生30人／参加費…300円※電話にて申し込み受け付け

◆歴史入門講座④現地見学「小堤城山を登る」／1月26日(木)午後1時博物館集合 講師…福永清治(市文化財保護課)／参加費…200円(資料代)

◆親子で楽しもう♪ウキウキ紙芝居とワクワク工房体験／1月27日(金)午前10時～11時30分 定員…親子20組(2歳以上)／参加費…300円※電話にて申し込み受け付け

近江天保一揆の記録を読む

近江天保一揆は、1842(天保13)年10月16日に三上(天保13)地に爆発した近江最大の百姓一揆です。幕府の検分役人の土地調査を中止に追い込み、幕府の崩壊を早めた大事件の一つとして注目されています。

平成4年11月～12月には、一揆から150年を記念して地元三上を中心に一揆の顕彰活動が行われました。また、平成14年10月には「天保義民土川平兵衛顕彰会」を結成して顕彰活動が進められました。平成17年11月には第9回全国義

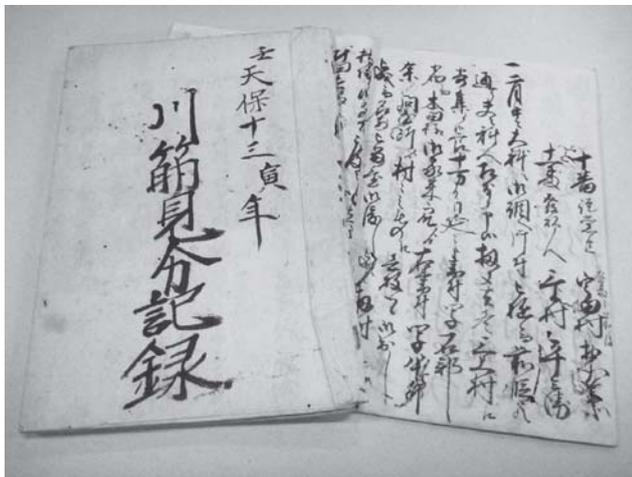
民サミットを野洲市で開催し、博物館では「近江天保一揆とその時代」をテーマに展覧会を開催して、展示図録も作成しています。

顕彰会では毎年、土川平兵衛の命日4月25日に墓前祭を行い、10月15日には天保義民祭を三上山麓の天保義民碑と保民祠の前で開催されています。また、顕彰会の研修では、百姓一揆の義民顕彰を進めている地域の見学や交流もされています。

義民松木長操の遺跡を訪ねられました。1652(承応元年)、小浜藩の大豆年貢がたいへん重く、改めることを願って訴願運動が展開され、その時の頭首新道村の庄屋庄左衛門長操(わずか16歳で若狭262か村の代表となる)一人が日笠河原で磔にされ、若狭の大豆年貢は引き下げられたといわれています。近江の天保一揆より古い時代のことで史料は少なく真実のほどは明かではありませんが、墓碑や顕彰碑が

建てられており、昭和8年には長操を祀る松木神社が建立され、奉賛会が組織されるなど、顕彰の歩みは確実な歴史として確認できます。

天保一揆を伝える史料としては、一揆後に大事件を伝えるために記された一件記録があります。「百足再来記」や「三上騒動始末記」などの表題が付けられ、前者は甲賀郡に流布した記録です。後者は野洲郡を中心に流布したと考えられる一揆記録で、「近江国田地御見分付騒動写 発端より裁許迄」などと記されるものもあります。



「川筋見分記録」(左)と「甲賀騒動発端記」(右)

博物館友の会古文書部会では、昨年(2017)から天保一揆の記録を読んでおり、現在、読んでいる史料は、三上村の隣村である南桜村の記録です。写真右の「甲賀騒動発端記」は、幕府の役人市野茂三郎の見分のことから、一揆のこと、そして、大津での取り調べ、天保14年3月4日、11人が江戸下りとなったことまで紹介されています。写真左の「川筋見分記録」は、天保12年12月2日京都町奉行所からの呼び出し状の到来から、江戸下りまでのことを記しており、今後読み進めていきます。興味のある人はどうぞご参加ください。古文書部会は、第1・第3木曜日午前10時～正午に博物館で活動しています。

一揆の記録は、一揆後の厳しい取り調べの中で資料の散逸、廃棄なども発生したと考えられ、頭首土川平兵衛の行動を知ることができる史料はたいへん限られています。多くの村には土地調査や一揆後の取り調べに伴う記録が残っている場合があります。一揆関係の記録文書を読み解き、一揆の真実にせまることも、顕彰の第一歩です。

(博物館学芸員 古川与志継)